

令和4年度 事業報告

令和5年5月18日
全国総合学科高等学校長協会

- 1 4月15日(土) 書面により、前年度事業等に関する監査を、監事、事務局長、事務局会計で行った。
- 2 5月26日(金) 令和4年度第1回理事会を書面にて開催し、全国総合学科高等学校長協会規約第14条2項「総会を開くことができない場合は、理事会をもって、これに代えることができる」を適用し、令和3年度の決算、令和4年度の予算、人事等に関する審議を行い決定した。
- 3 5月25日(木)～26日(金)に予定されていた令和4年度総会及び研究協議会を中止した。令和3年度の東海地区、九州地区の研究調査の成果は会員各位への報告冊子の配布(郵送)を持って行った。
 - (1) 「東海地区総合学科高等学校の成果と課題 ～「産業社会と人間」及び「総合的な探究の時間」の教科連携～」 東海地区総合学科高等学校長協会
 - (2) 「新しい時代に対応した総合学科高等学校の魅力づくり ～キャリア教育の充実を図る指導体制の在り方を探る～」 九州地区総合学科高等学校長協会
- 4 5月～6月、退職された役員に感謝状と記念品を郵送により贈呈した。
- 5 10月、全国の会員校の所在地・生徒数・系列・学校の特徴などの概要をまとめた、「全国総合学科高等学校便覧令和4年度版」(CD-R版)を作成し、全国の会員校に配布した。
- 6 10月19日(水)、第2回理事会をオンラインにて開催し、本会の事業の活性化についての協議を行った。
- 7 11月10日(木)、令和4年度第27回全国高等学校総合学科教育研究大会(愛知大会:愛知県立知立高等学校 森藤 真言大会委員長)を対面とオンラインを併用したハイブリッド方式にて開催した。大会の研究成果は、大会報告冊子として令和5年3月末日までに、全国総合学科高等学校長協会の会員校に郵送にて配布された。

公開授業は、愛知県立岩倉総合高等学校、名古屋市立西陵高等学校での授業実践として、録画配信形式にて報告された。また、全体発表として、愛知県立鶴城丘高等学校、愛知県立蒲郡高等学校、2校の教育実践が報告された。

大会の開会にあたり、愛知県教育委員会教育長 飯田 靖氏より御祝辞をいただいた。また、文部科学省初等中等教育局視学官(高等学校担当)からは「高等学校教育改革の最近の動向」と題する御講話を、C o C o 老番屋の創業者 宗次 徳二氏からは「一つの小さな目標が、人生を成功に導く」という題での記念講演を実施した。

分科会についてはオンライン併用にて、以下のテーマによる研究協議を行った。

【第1分科会】「産業社会と人間」・「総合的な学習・探究の時間」の指導について

秋田県立西目高等学校

佐々木 充宏

群馬県立伊勢崎興陽高等学校

鈴木 康正

【第2分科会】教育課程編成及び展開上の諸課題について

奈良県立二階堂高等学校

浦川 幹雄

宮岸 伸之

名城大学附属高等学校

古沢 寿博

【第3分科会】「キャリア教育」・「進路指導」の在り方について

高知県立宿毛高等学校 西内 美都

熊本県立翔陽高等学校 山口 博久

【第4分科会】総合学科としての特徴的な取組・特色ある取組について

北海道斜里高等学校 井村 了介

富山県立小杉高等学校 福田 剛

【第5分科会】総合学科の成果と課題について

静岡県立天竜高等学校 袴田 貴満

岡山県立鴨方高等学校 万代 ユミ

- 8 10/15(土)～16(日)、第32回全国産業教育フェア青森大会(さんフェア青森2022)に、青森県内の総合学科高校が参加し、作品展示や販売、研究発表等を行った。
- 9 12月、令和6年度高等学校教育予算に関する要望事項を、全国高等学校長協会に提出した。この要望はその後、全国高等学校長協会でも検討した上で文部科学省に提出される。
- 10 近畿地区、四国地区が担当となり、担当地区役員を中心に、総合学科高等学校の教育課題について、調査・研究活動を協会として実施した。
- 11 1月、総合学科高等学校卒業生成績優秀者表彰のため、各学校に対して事務局から表彰状、表彰状筒、記念品(タッチペン付3色ボールペン)を送付した。
- 12 令和5年2月3日(金)、第3回理事会を、対面とオンラインを併用したハイブリッド方式にて開催した。
- 13 4月、全国総合学科高等学校長協会誌「全総会報・第18号」を発行し、全国の会員校および関係諸機関に配布した。